

令和3年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立筑紫中央高等学校(定時制課程)

自己評価 学校運営計画(4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
校訓「至誠・自立・謙見」をもとに、学校教育活動全般において、着実に成果を上げてきた。伝統をふまえつつ、新たな歴史を創造する担い手として、人間性豊かな生徒の育成を目指し、学業と就業の両立ができ、たくましく生きていくことのできる生徒を育てることに努めた。
今年度は、変容する生徒状況を把握しつつ、定通併修制度や高等学校卒業程度認定試験の利用のあり方を再検討する。また生徒の学力等に応じた粘り強い継続的な指導・支援体制の構築を図る必要がある。更に生徒の個別の成長課題の解決のため、家庭や専門家との連携を強め、自己肯定感を育む教育環境の整備に努めたい。

学校関係者評価
評価(総合)
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である
項目ごとの評価
学校関係者評価委員会からの意見

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策
・教科指導～観点別評価について習熟し、生徒の実態に応じた学習指導及び多面的な評価ができるように研修会を実施する。
・生活指導～年度当初のHR活動等を使ってマナー指導、授業態度の指導を行う。18歳成年を見据え、自立を意識した指導を行う。
・進路指導～進路意識の向上を目指した取組を継続して行う。
・健康安全指導～SCやSSWと連携した相談体制を確立し、生徒や職員が相談しやすい雰囲気を作る。
・研修～職員のニーズを満たす研修会となるよう、職員の要望を踏まえて適切に研修会を計画する。

評価項目以外のものに関する意見
なし